

令和6年度（2024年度）実績報告

図書館年報



令和7年5月

大台町立図書館

目 次

はじめに

1. 図書館の基本的なサービス	4
資料の公開・貸出	4
窓 口	8
館内サービス	10
Web サービス	11
2. 事業・活動報告	12
来館者事業	12
非来館者事業	25
移動図書館	28
他機関連携事業	32
広報活動	34
施設支援事業	36
その他	37

3. 状況報告	39
資料所蔵状況	39
利用者状況	40
年齢別地区別個人の実利用者数	42
貸出状況	43
公民館図書室利用状況	45
4. 経費・サービス指数	46
令和6年度資料費	46
サービス指数	46
5. 課題と対策	47
前年度に挙げた課題と対策	47
令和7年度に向けての課題と対策	50

はじめに

図書館は自ら学ぶという姿勢を支え、生活の質を向上させることができる場所です。しかしながら、上手に図書館を活用するためには、図書館が提供しているサービスを把握している必要があります。この年報では、図書館サービスをより多くの方に知ってもらうために、基本的なサービスをまとめています。

1. 図書館の基本的なサービス

【資料の公開・貸出】

図書館は自ら作成した収集方針に従って資料選択および収集を行う機関です。その収集する媒体は、紙、音声、映像、電子書籍など様々です。どんな資料を集めるか、自由に手に取って見ることができるか（開架式）、館外への持ち出しができるか（貸出可）は、それぞれの運営する館によりルールは違います。当館では、今は主に紙媒体での資料収集を行い、開架、貸出可（一部禁帯出あり）というルールで運営しています。また選書は、リクエストやレファレンスを参考に町民のニーズに対応するとともに、今後必要とされる可能性が高い内容の資料も司書が検討し収集しています。

◆収集資料の種類

新聞 朝日新聞、中日新聞、読売新聞、夕刊三重

雑誌 暮らしの手帖、すてきにハンドメイド、趣味の園芸、きょうの料理、きょうの健康、オレンジページ、歴史人、日経 PC21、AERA、週刊ベースボール、週刊新潮、SCREEN、子供の科学、婦人画報、Newton、non-no、クーヨン

以下休刊 おくまの（～2018.3）、NAGI（～2025 春）、Simple（～2025.1）

図書 単行本、絵本、大型絵本、大活字本、ムック本、文庫本、紙芝居、郷土資料の小冊子・パンフレット・リーフレット

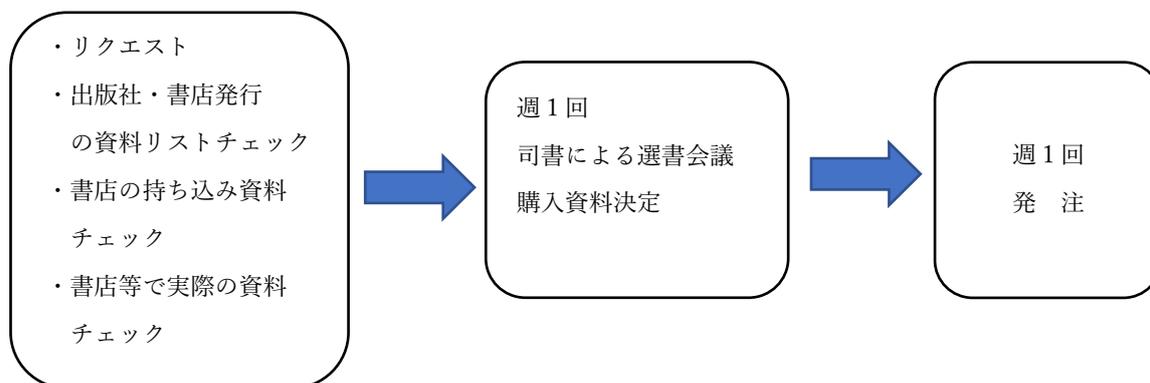
◆選書から排架まで（図書）

資料選びから棚に並ぶまでには、一定の時間がかかります。資料到着後も、司書による資料チェックを行います。新刊として発売されて間もない資料は、書店等での現物確認をする機会はほとんどなく、カタログやインターネットなどで確認できる情報にたよって選書しています。実際に目にするのは、選んだ資料が届いたときということがほとんどです。そのため選んだ資料が、どのようなレファレンスに対応できるか、この図書館では、司書が簡単に把握するための時間（1週間）を設けています。検索データだけでは対応しきれないレファレンス時に、このような日々の資料の目視が欠かせません。発行後かなりの時間が経過した資料については、必要であれば他の図書館から資料を借り受け、目視で内容を確認した上で購入決定する場合があります。

① 選書（第一段階 情報収集）

② 選書（第二段階 絞り込み）

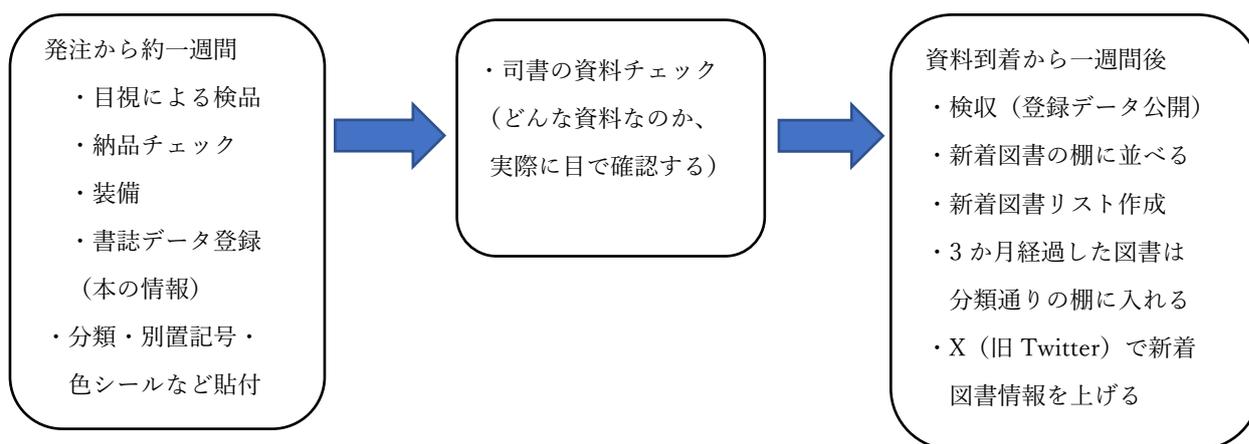
③ 発注



④ 資料が届く・データ登録

⑤ 資料チェック

⑥ 書架に並べる



雑誌は、受入処理が済み次第、速やかに棚に並べています。新聞は、受入処理はありません。最新号や最新刊の貸出や複写はできません。

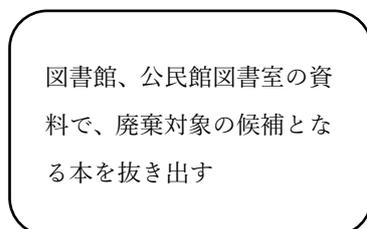
◆寄贈

「家を整理していて、もったいないので本を図書館に寄贈したいのですが」という問い合わせがよくあります。残念ながら、図書館の規模はすでに収納できる容量をはるかに超えており、毎年図書館で購入した資料を廃棄しつづけてはならない状態です。そのため、現在では、基本的には寄贈の受付はお断りしています。なお、未所蔵の郷土資料（大台町、周辺地域に関係のある資料）で、長期の保存に耐えうる資料であれば受入を行うこともあります。また、出版社や個人から新しい本の寄贈を受けることがあります。こちらについても、選書会議で司書が必要と判断した資料のみ受入します。

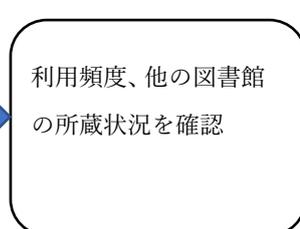
◆資料の抜き出しから廃棄まで

資料を収集し続ければ、どんな図書館でもいずれは書架が一杯になります。書庫がある場合は、ある一定時間が経過した資料はそこに収められます。しかしながら、この図書館には書庫はなく、他の図書館のように資料の保管機能を持つことはできません。そこで資料を廃棄するための基準を設けています。ただし、現在では廃棄対象年数を迎えても、資料的価値が高く利用が見込まれると判断したものは、図書館もしくは公民館図書室等に置いています。

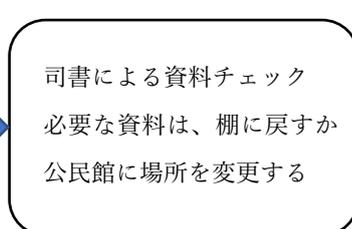
① 廃棄対象本抜き出し



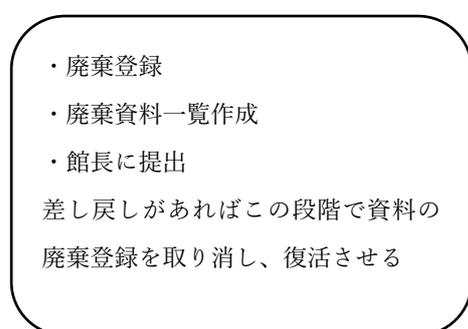
② データ確認



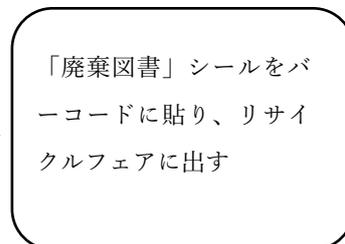
③ 司書チェック



④ 廃棄決定



⑤ リサイクルフェアで廃棄資料公開



●廃棄対象（図書資料）●

- ・受入よりおおむね8年以上経過したもの
- ・汚れ・破損が著しいもの
- ・時代的役割を終えたもの
- ・新しく版が出版されたもの
- ・百科事典で10年以上経過したもの
- ・法・税の説明で5年以前のもの
- ・スポーツ等でルールが変わったもの
- ・類似本が出版されて、資料的価値がなくなったもの
- ・館長が不要と認めたもの

雑誌は2年、新聞は3か月を保管期間としています。現在は、保管期間終了後、利用頻度の高い雑誌のみ2年間公民館で利用できるようにしています。

【窓口】

◆図書利用者カードの発行

資料の貸出を希望する場合に利用者の登録を行い、「図書利用者カード」を発行しています。利用対象者は、大台町に在住・在勤・在学の方、大紀町在住の方、その他館長が認めた方となっています。年齢制限、利用期限ともにありません。

◆Web用ログインパスワードの発行

希望者にはWebログイン用のパスワードを発行しています。

◆貸出返却の受付（貸出規則等については年報裏面に記載）

貸出と返却の受付をしています。

◆予約の受付

利用したい資料が貸出中の場合、予約をすることができ、窓口で受付をしています。

◆リクエストの受付

図書館の蔵書にない資料は、購入依頼（リクエスト）を行うことができます。

◆相互貸借の受付

図書館の蔵書にない資料は、相互貸借を行っている県内・愛知県・岐阜県・富山県の図書館であれば無料で資料を借りることができます。

予約・リクエスト・相互貸借申込書は同じ用紙ですが、一冊につき一枚ずつ記入が必要です。

予約・リクエスト・相互貸借 申込書

◆レファレンス

資料についての相談を受付けています。

- ・大台町立図書館の所蔵、場所確認
- ・他の図書館所蔵確認
- ・調べもの相談（知りたい事柄を何で調べたらよいかの相談）

レファレンスと一言でいってもその難易度は様々です。所蔵確認というすぐに回答できるものから、知りたい内容を詳しく聞く必要があるもの、調査に時間がかかるものなどもあります。回答方法は、資料の提供のみにとどまらず、インターネットも活用し、集めうる情報を収集します。

◆資料の複写受付

著作権法で認められている範囲内で図書館資料の複写ができます。

受付は窓口で行い、1枚10円で職員が複写を行います。

◆館内設備利用受付

個別学習コーナー、多目的ルーム、検索用パソコンの利用申請を受付しています。

【館内サービス】

◆検索用パソコン

1階には、インターネットが使えるパソコンが1台あります。検索の補助として、誰でも利用できますが、個人の文書やデータ作成、メール送信等には利用できません。

◆館内蔵書検索機（OPAC）

館内にある蔵書を検索することができます。2022年3月からは、検索した資料のデータをレシートで印刷することができるようになりました。さらにログインボタンを追加し、利用者個人のページをこの検索機から見るできるようになりました。

◆貸出資料のシール印刷

館内蔵書検索機でログインすると貸出中の資料を1冊ずつシールにすることができます。読書手帳等に添付し、個人の貸出記録や読書記録をつけることができます。

◆個別学習コーナー

個人で使う学習専用スペースです。席の指定番号があり、使用前に窓口で利用申請をしてから誰でも使うことができます。
今年度で全席のデスクライト設置が完了しました。



個別学習コーナーの様子

◆多目的ルーム

行事が開催される部屋です。行事がない場合は、次の用途で事前に利用申請すると使うことができます。

学習グループ利用 1～数人の少人数での利用

貸切利用 利用条件を満たした団体（自主グループ、非営利団体など）の講座や講習会、5名以上で利用の学習会や会議

ギャラリー使用 貸切にせず、壁面での展示

ランチタイム 12:00～13:00のみ食事可

◆Wi-Fi

館内でWi-Fiが利用でき、持ち込みのインターネット通信機器が使えます。

【Web サービス】

大台町立図書館には、インターネット上で図書館情報を確認できるホームページがあります。また、X（旧 Twitter 以下 X）でも図書館の日々の情報を発信しています。

◆ホームページ

開館日、行事予定、図書館からのお知らせなどが確認できます。
また、ダウンロード用の読書手帳のデータもあります。

◆蔵書検索（OPAC）

図書館に所蔵している資料の検索を行うことができます。

◆ログイン後にできること

- ・利用状況参照
返却予定日などが確認できます。期限延長も1回に限り行うことができます。
- ・予約
本を10冊まで予約することができます。
- ・新着案内配信サービス
ご自身の興味、関心があるテーマを登録すると、登録されたテーマに関する新着資料があった場合、新着情報がメールで配信される設定にすることができます。
- ・ユーザ設定
パスワードの変更やメールアドレスの登録を行うことができます。メールアドレスを登録すると、予約した資料の確認や取り置きのお知らせ、新着案内サービスのお知らせがメールで受け取れます。

◆X

天候などによる急な臨時休館のお知らせや、個別学習コーナーや多目的ルームの利用状況など、いち早く伝達が必要な情報を発信しています。他にも、おすすめ本の紹介や図書館の日々の出来事も紹介しています。

大台町立図書館ホームページ
<http://www.ma.mctv.ne.jp/~odai-to/>



大台町立図書館 X
@odai_to810



2. 事業・活動報告

【来館者事業】

本を貸し出すことだけが図書館の役割ではありません。自主的学習や体験のできる場所でもあります。読書をする楽しさを知ってもらえるような企画に取り組んでいます。

◆読書手帳

読書手帳とは、本の記録をつけるための手帳です。読んだ感想を残すことで、読書習慣に繋がりがやすく、読書したという達成感を感じることができます。

また図書館では個人情報の保護という観点から、返却した本の記録は残さない仕組みとなっています。読書手帳を使うことで、自身で借りた本の記録として残すことができます。

2022年2月に図書館のシステムを更新しました。これを機に、館内に設置されている館内蔵書検索機（OPAC）から、利用者がログインを行うと貸出中の本の題名等をシールとして印刷できる機能を追加しました。このサービスの周知と普及を兼ねて、オリジナル読書手帳を求めに応じて配布しています。シールを貼る以外にも、直接手書きで記録ができる仕様になっており、ホームページからデータをダウンロードするとご家庭でも作ることができます。



窓口横の棚にあります。

◆定期行事

毎月定期的に開催している行事です。

●ばぶばぶおはなしかい

2022年度9月から開始したおはなし会です。開催曜日を毎月第3水曜日から第3土曜日10:40~11:00に変更して開催しました。乳幼児(9ヶ月~2歳児)とその保護者を対象として開催しました。昨年度よりも参加がある月は増えました。ただ、0人という月も何度かありました。そんな日は職員相手に模擬練習としました。

開催日	0歳	1歳	2歳	他	保護者	歌遊び	本
4/20	0	1	0	0	2	ちょちちょあわわ、げんこつやまのたぬきさん	『もももも』谷川俊太郎/作 元永定正/絵 文研出版 他3冊
5/18	0	0	0	0	0		
6/15	0	2	0	0	2	ちょちちょあわわ、げんこつやまのたぬきさん	『いぬがいっぱい』グレース・スカル/さく やぶきみちこ/やく 福音館書店 他3冊
7/20	2	1	2	2	3	ちょちちょあわわ、さよならあんころもち	『ごぶごぶごぼごぼ』駒形克己/さく 福音館書店 他4冊
8/17	1	1	1	0	2	うまはとしとし、さよならあんころもち	『ももも』川之上英子・川之上健/さく・え 岩崎書店 他4冊
9/21	1	0	1	0	1	うまはとしとし	『まるさんかくぞう』及川賢治・竹内繭子/作 文溪堂 他3冊
10/19	0	0	0	0	0		
11/16	0	1	0	0	1	にんどころ、こりゃどこのじぞうさん	『もいもい』市原淳/作 開一夫/監修 ディスカヴァー・トゥエンティワン 他3冊
12/21	0	0	1	1	2	にんどころ、工作ツリーのシールはり	『にここおかお』とよたかずひこ/著 アリス館 他3冊
1/18	0	0	2	1	2	おはなし、かれっこやいて	『ころころころ』元永定正/さく・え 福音館書店 他3冊
2/15	0	0	0	0	0		
3/15	リサイクルフェア初日のため開催なし						
合計(人)	4	6	7	4	15		



おはなしを聞く様子

●ぴよぴよおはなし会

毎月第3木曜日に司書が行う読み聞かせの会です。毎月テーマを決め、読み聞かせや遊びを行います。未就学児を主な対象としていますが、未就園児や小学生も参加しています。

今年度は、日本独自の文化でもある紙芝居を楽しんでもらうために、毎月一つずつテーマに沿った内容の紙芝居をしました。テーマを決めてから本や紙芝居を選ぶため、テーマによっては選択できる絵本や紙芝居が少ないことがあるとわかり、購入すべき資料の検討にもなりました。

読む練習をした上で本番に臨んでいます。参加している子ども達は0歳児から小学生まで年齢が幅広いので、どの年齢にも対応できるように本を何冊か選んで対応しました。

遊びの時間にはテーマに沿ったものや、本に登場したものを折り紙で作るなど、子ども達と一緒に楽しめる遊びをしました。



9月 おはなしを聞く様子



10月 ハロウィンの様子

開催日	テーマ	読んだ本・紙芝居	遊び	参加人数		
				子ども	保護者	計(人)
4/18	のりもの	『のってのって』 くろいけん//さく・え あかね書房 他2冊	折り紙(ロケット)	3	1	4
5/16	いきもの	『うまれたよ!アゲハ』 安田守//写真 小杉みのり//構成・文 岩崎書店 他2冊	新聞紙遊び(帽子作り)	1	0	1
6/20	あめ	『いけのおと』 松岡達英//さく 福音館書店 他2冊	折り紙(カエルとオタマジャクシ)	9	3	12
7/18	なつ	紙芝居『うなぎにきいて』 桂文我//脚本 長谷川義史//絵 童心社 他2冊	折り紙(だましぶね)	4	0	4
8/15	おばけ	紙芝居『ばけものでら』 水谷章三//脚本 宮本忠夫//絵 童心社 他2冊	遊び(色画用紙ヨーヨー釣り)	9	6	15
9/19	むかしばなし	『ももたろう』まついだし//ぶん あかばすえきち//え 福音館書店 他1冊	折り紙(ももたろう)	10	2	12
10/17	ハロウィン	『おばけやしきにおひっこし』カズノ・コハラ//作 石津ちひろ//訳 光村教育図書 他1冊	目玉運びスプーンゲーム、ビンゴ	18	7	25
11/21	あき	『14ひきのやまいも』 いわむらかずお//さく 童心社 他3冊	折り紙(りんご)	7	2	9
12/19	クリスマス	『なぜ、クリスマスツリーをかざるの?』 岩倉千春//脚本 アリマジュンコ//絵 童心社 他2冊	折り紙(クリスマスツリー)	8	3	11
1/16	ふゆ(節分)	紙芝居『ふくはうちおにはうち』 いしばししずこ//作 石橋三宣//画 教育画劇 他3冊	折り紙(豆入れと豆) 遊び(豆まき)	10	3	13
2/20	はる(春の草花)	紙芝居『はなさかじいさん』津田真一//脚本 梅田俊作//絵 常光徹//監修 童心社 他2冊	折り紙(3色だんごづくり)	5	1	6
3/20	祝日のため休み					
計12回				84	28	112

●ぷらっと

気軽に集うことができる場や、新たな図書館での過ごし方を提供するため、普段から図書館を利用しない方でも「ぷらっと」気軽に立ち寄れる場所を作るために開始しました。毎月第2木曜日の14:00～15:30に様々な行事を行っています。

今年度は、定員に達しない月やキャンセルが相次いだ月も多く、参加人数が伸び悩みました。しかし、その中でも「ぷらっと」開始以来初の園児の参加もありました。それにより、幅広い世代の方に告知が届いていることがわかりました。今後も、様々な方に参加してもらえるように工夫をしていきます。



7月の様子



2月の様子



3月の様子

開催日	テーマ	内容	参加人数(人)
4/11	図書館を知ろう	分類の説明、プチ館内ツアー	4
5/9	ストレッチをしよう!	役場健康ほけん課 理学療法士・上山哲明さんによるストレッチ	5
6/13	新聞バッグを作ろう!	新聞紙でバッグ作成	9
7/11	手品をやってみよう!	「大台お笑い一座」によるマジックショーと皿回し体験	7
8/8	大人の朗読会	職員による本の朗読	7
9/12	交通安全について学ぶ	警察官より高齢者の交通安全について学ぶ	3
10/10	最近読んだ本教えて!	参加者が最近読んだ本や好きな本について語る	4
11/14	今、最期を考える	包括支援センターの職員よりアドバンス・ケア・プランニングについて教わり、もしバナゲーム実施	7
12/12	ちぎり絵をしよう!	新聞ちぎり絵作成	10
1/9	新春 百人一首大会	小倉百人一首でかるた取り大会	3
2/13	図書館でヨガ体験	森操さんによるヨガ体験	5
3/14	大台町の歴史を歩く	三瀬岩跡と慶雲寺まで歩き、大台町ふるさと案内人の会・筒井敏さんの解説を聞く	4
計 12 回			68

●おはなしプーさん 読み聞かせ会（この部分は代表小野清美様にお願いしました）

毎月第2土曜日 10:30～11:00 の30分間、ボランティアグループおはなしプーさんが読み聞かせ会を開催しています（定例会と呼んでいます）。

3人の当番が季節や行事のお話を中心に、その日訪れた子どもの年齢等を考慮して本を選び読みます。

7月・12月のイベント月には1時間に時間を拡大し、紙芝居や大型絵本、手遊び等も取り入れます。プーさんから手作りのプログラムや心ばかりのプレゼントもあります。

2002年に発足したおはなしプーさんは、22年間活動を続けてまいりました。毎年同じことを繰り返しているようで山あり谷あり……。どんな時も皆で力を合わせてきました。おかげさまで町民の皆さんへの認知度は高くなりました。会員どうしの団結も強まり、とても居心地の良い会に成長しました。ただ、問題も山積みで、昨今気になるのは会員の高齢化と定例会の参加者の減少です。何とかしなければ、と皆で考えてはいるものの、少子高齢化の波をまともに受けています。準備をして待っていても、あまりにも参加者が少なくてがっかりしてしまうことも少なくありません。それはイベント月も同じです。幸い、出前の依頼は増える一方で、その1回1回を大切にに取り組むことで、絵本の魅力は子どもたちに伝わっているように思います。手軽に楽しめるツールが沢山ある世の中であり、会員の高齢化も進んではいますが、今後も自分たちに出来ることを地道に続けていきたいと一同話し合っています。参加していただく親子も、私たち読み手も、絵本を通して皆がほっこりと楽しめるようなおはなし会を目指したいと思っています。



7月の定例会の様子



12月の定例会の様子

◆その他の行事

毎年取り組んでいる行事とその年度のみ開催する行事があります。

●おはなし FESTIVAL！

図書館で開催している各おはなし会の PR を兼ねて、図書館そのものを一日楽しめるイベントを実施しました。メインイベントに加えて、職員による読み聞かせ、大台町や大紀町で活動している読み聞かせのボランティアグループにもそれぞれの活動内容の紹介と読み聞かせをしてもらいました。

メインイベントである「絵本×大道芸ライブ」は、朝から曇り空で雨が降るかもしれないという不安がありました。そのため、オマールえびさんからの提案もあり、雨が降らない時間に急遽追加で1回目のライブを実施してもらい、予定時刻の開催と2回してもらうことになりました。どちらも雨は降らず、2回とも外で開催でき老若男女問わずたくさんの方に観て楽しんでもらうことができました。この日の宣伝のために、事前に町内保育園3か所を回ってもらったおかげで来場者も150人を超える大盛況でした。1日を通して図書館で楽しんでもらう企画だったので、休憩所や軽食販売を設けたところ好評でした。

開催日時 2024年5月6日（月・振替休日）10：30～15：15

内 容 ①図書館開催の「ぴよぴよおはなし会」「ばぶばぶおはなしかい」の読み聞かせ
ボランティアグループ「おはなしプーさん」「ななほお話し会」の読み聞かせ
※各おはなし会には参加賞（廃棄絵本のプレゼント）あり
②「かんたんこうさく」かざぐるまをつくろう
③大道芸人オマールえびさんによる絵本×大道芸ライブ
④スタンプラリー（各おはなし会、かんたんこうさく、貸出でポイント）
※スタンプ3つで参加賞（折り紙のプレゼント）あり

参加方法 自由参加制（事前予約不要）

参加対象 乳幼児（9カ月～2歳児）～小学生とその保護者、その他来館者

場 所 図書館駐車場、図書館2階マルチフロア（多目的ルーム・個別学習コーナー）

協 力 bread and coffee カナエタさんによる軽食販売

結 果 おはなし会参加者 計122名 かんたんこうさく約25名
大道芸観覧者 約150名



ななほお話し会さんによる
読み聞かせの様子



かんたんこうさくの様子



オマールえびさんによる
絵本×大道芸ライブの様子

●リク★マツ

リク★マツとは、図書館の利用が少ないYA（ヤングアダルト）世代の図書館利用促進を目指して、この世代からのリクエストを募集する企画です。リクエストのあった本を選書会議で検討し、選書基準から外れないかぎり積極的に購入しています。この企画により、より親しみやすいYAコーナーづくりとその周知を行っています。

※YA（ヤングアダルト）とは、10代の若者を指しています

募集期間 2024年6月14日（金）～7月31日（水）

応募方法 リク★マツ専用リクエスト用紙に記入し、応募箱に入れる

告知方法 図書館だより YA版に掲載、ポスターを図書館と大台町内小中学校及び
昂学園高等学校へ配布

応募総数 7件

結 果 3タイトル11冊

『いのちの食べ方』 1～5巻 Eve//原作・プロデュース 十文字青//著 KADOKAWA

『スパイ教室』 1～5巻 竹町//著 KADOKAWA

『世界とキレル』 佐藤まどか//著 あすなる書房



選ばれた本

7回目の開催となる今年度も、昨年度同様に一般書の応募はありませんでした。アニメやキャラクターの関連書籍を希望する声が多くありましたが、当館の選書基準から外れていたり、そもそも書籍化されておらず購入できなかつたりと、選書は難航しました。結果、文庫のシリーズが増える結果となりましたが、書架には限度があるため、今後YAコーナーを増設するか、今ある蔵書を廃棄や公民館図書室に移すか、課題を残すこととなりました。

●おはなしキコット

夏休み企画行事として、少し長めの本の朗読を聞いて楽しむ、小学3年生以上を対象としたおはなし会を開催しました。朗読会終了後は、自由参加のワークショップを行い、気に入ったシーンを描いてもらいました。

申し込みの段階では1名のみでしたが、友達も一緒に参加してくれたので参加者2名で開催しました。朗読時間は2時間半以上あり、長丁場となりましたが、物語の良さをしっかり味わっていたようでした。絵本ではないので、絵を描く際も自分がイメージしたものを描いてもらいました。長時間話を聞き続けるというのは大変なことです。集中力を切らさずに聞いてもらうことができました。朗読は4人が交代で行いました。保護者の方にも、また朗読会を開催してほしいと言われました。参加者が少なかったことは残念ですが、司書も読んでもらいたいと思っていた本を楽しんでもらうことができよかったです。

開催日時 2024年7月31日(水) 14:00~17:15

対 象 小学3年生以上

参加人数 2名(小学6年生2名)

内 容 本の朗読『ほらふき男爵の冒険』

G.A ビュルガー//編 斎藤洋//文 はたこうしろう//絵 偕成社
ワークショップ「気に入ったシーンを絵に描こう！」



朗読の様子



ワークショップの様子

●司書体験

図書館の仕事に興味を持ってもらい、図書館に対する理解を深めてもらうことを目的とした行事です。小学生を対象にした「子ども司書体験」と中高生を対象にした「司書体験」があります。

子ども司書体験

開催日時 2024年8月23日（金）9：45～15：00

2024年8月24日（土）9：45～15：00

募集人数 各3名まで

対 象 大台町・大紀町在住の小学4～6年生

参加人数 23日1名 24日2名

参加賞 修了書（賞状）と子ども司書認定証（プラスチックカード）

内 容 図書館業務

（貸出・返却業務、返却図書の配架、本の紹介POPづくり、
レファレンス体験、本のコーティング体験、本の修理体験）

※レファレンスとは、利用者の調べもの相談です。

本探しや知りたい情報を手に入れる手伝いをします。



2024年度で4回目となる行事です。体験項目は例年通りですが、今回は少人数のため、すべての体験をじっくり行うことができました。また、初の試みとして、参加者に「子ども司書認定証」を発行しました。



本のコーティング体験の様子



レファレンス体験の様子

司書体験

開催日時 2024年11月24日（日）9：45～15：00

募集人数 3名

対 象 大台町・大紀町在住の中学1年生～高校3年生

参加人数 0名（今年度は応募なし）

●トークイベント 「大台町のイマヒト！」

町内で活躍している方を「イマヒト」として招待し、トークイベントを開催しました。

講師の方に事業を始めた動機や実際に感じた苦労、新しい発見などを話してもらい、意見交換をすることで参加者同士の交流の場としています。「大台町にはこんなお店があるのか!」「大台町でもこんなことができるのか!」と知るきっかけにもなりますので、今後も継続したいと考えています。

県外在住だったゲスト講師の佐々木さんは、たまたま目にした大杉谷キャンプ場のワークショップに参加したことをきっかけに、地域の方の人柄に惚れ、大台町に移住しようと決意し、「地域おこし協力隊」として町の商工会へ入ったそうです。この時に、自身が希望にあった家を探すことに苦労したという経験を踏まえ、「AWA プロジェクト」を立ち上げたこと、「AWA プロジェクト」を通じて町内の空き家が契約へ結び付いた割合は、他の空き家バンクに比べて高い数値を出していること、移住者は購入よりも借りたい気持ちが強いこと、地元住民が移住者を受け入れてくれるかどうかといった課題も残ることなどを話してもらいました。講話後にはゲスト講師に関連して空き家をテーマに本を紹介しました。

※「AWA プロジェクト」とは大台町の空き家や、空き店舗・空き地の新しく楽しい活用をデザインする一般社団法人です。

タイトル	『大台町のイマヒト!』
開催日時	2024年9月29日(日) 14:00~15:30
ゲスト講師	一般社団法人 AWA プロジェクト 佐々木圭介さん
参加人数	7名(事前申込6名、キャンセル2名、当日参加3名)
対象	中学生以上
内容	講話、司書も交えた参加者質問コーナー、司書のブックトークなど
紹介した本	『空き家の法律と税金と管理がわかる本』 コンデックス情報研究所//編著 成美堂出版 『フリーター、家を買う。』有川浩//著 幻冬舎

他9冊



講話の様子



本紹介の様子

●映画鑑賞会

コロナ禍で様々な行事が中止・延期となった中、映画であれば参加人数を制限して静かに鑑賞できるのではないかという考えのもと、2020年度から始まりました。制限も緩和された現在は、小さいお子様の映画鑑賞デビューや、映画を通して町民同士のコミュニケーションをとる場になればと考え開催しています。

例年三重県視聴覚ライブラリーの作品リストから選んできましたが、そのほとんどがVHSであり、DVDも内容や上映時間の条件に合うものが限られてしまいます。そのため、今年度は図書館が収集すべき資料である視聴覚資料として、映像使用範囲が「上映可・館内利用可・館外貸出可」である資料を購入することになりました。

今回はどちらの部も話題になった作品だったため、例年より多い申込みがありました。子どもの部は終始子ども達が内容に入り込んでいる様子で、静かに観ていました。

大人の部は映画自体に休憩時間はあるものの、3時間と長丁場でした。若い世代から高齢にかけて幅広い参加があり終了後も「面白かった」という声がありました。

開催日時 2024年12月8日(日) 子どもの部 10:40~12:00 (幼児・児童対象)
大人の部 13:30~16:50 (一般対象)

参加方法 事前参加申込制 定員各15名程度

対象	作品名	紹介した本	参加人数
子どもの部	『映画すみっ こぐらし ツ ギハギ工場の ふしぎなコ』	『すみっこぐらし紙バンドで作るかわいいバスケット』 山本めぐみ//著 ブティック社 『こわがりかびのはじめての旅。』 本上まなみ//著 マガジンハウス 他2冊	3組7名 (3組6名 欠席)
大人の部	『RRR』	『インド映画完全ガイド』 松岡環//監修・編 夏目深雪//編集 佐野亨//編集 世界文化社 『本格カレーとビリヤニ最速レシピ』香取薫//著 主婦と生活社 『ファンタジーの元ネタ超解説 神話と宗教の解体神書』 しんりゅう//著 沖田瑞穂//監修 KADOKAWA 他3冊	8名 (3名欠席)



子どもの部 上映中の様子



大人の部 図書紹介の様子

●借りる！図書館福袋

袋に入れ、あえて本がわからない状態で貸出することで、利用者が普段選ばない本と出会う機会にしています。

福袋の準備数は、会場の収容スペースの観点から例年20セットとしています。小学生対象の袋が残る傾向にあることから、今回は、小学校・低学年と小学校・高学年を2セットずつにし、前回好評だったシニア向けの福袋を4セットに増やしました。

初日の開館直後に、松阪ケーブルテレビの取材がありました。タイミングよく貸出利用があり、利用者がインタビューに応じて頂きました。

今回は土曜日始まりだったので、お正月休みの一般の利用者を見込んでいました。ところが、福袋コーナーを横目を通り過ぎる方や、帰り際に初めて気づく方、説明をしたら借りていく方などが目立つ結果となりました。2日目お昼過ぎで13セット以上残っていました。また、利用者から「お店の福袋と同じように新年から開始するのではなく、年末から借りることができれば利用する方がいるのでは」というご意見がありました。

お正月恒例行事として楽しんでもらえるよう、工夫を重ねていきたいと思います。

期 間 2025年1月4日（土）～1月12日（日）8日間で終了

福袋準備数 幼児5セット、小学校低学年2セット、小学校高学年2セット
YA（ヤングアダルト）2セット、一般5セット シニア4セット
計20セット

福袋仕様 中身が見えないように本を包装
借りたい人は、福袋に貼られている対象年齢とテーマを元にして選ぶ



設置後の様子



松阪ケーブルの取材風景

●リサイクルフェア

保管期間の過ぎた本・雑誌を無料でプレゼントする企画です。

開催期間 2025年3月15日(土)～3月31日(月)

持ち帰り冊数 一人10冊まで(3月24日(月)以降冊数無制限)

リサイクルフェアの対象となる本

- ・廃棄対象となる本で2025年2月までに廃棄申請を提出した本・雑誌
- ・寄贈として送付されてきたが受入対象とならなかった本
- ・2023年度リサイクルフェアの残りの本・雑誌

今年度は、初日の混雑緩和のため、初日の正午まで各回20分20名までの制限を行い、整理券の配布をしました。

最終日まで大きな混乱もなく、たくさんのお本をお持ち帰りいただきました。

アンケートにより来場者数および持ち帰り冊数を記録していますが、来場者全員に記入してもらうことはできないため、以下の数字は概数となっています。

【集計結果】

開催日数	来場者数	持ち帰り冊数
13日	237人	1,279冊



リサイクルフェア初日の会場の様子

【非来館者事業】

直接来館をしなくても、図書館の本を利用できるよう事業を継続して行っています。

受け取り場所（ステーション）は、荻原公民館、健康ふれあい会館、日進公民館、移動図書館川添、移動図書館日進の5か所あり、Web予約でも場所を指定することができます。

◆移動図書館

川添地区・日進地区を対象に移動図書館を実施しています。詳細は次項の「移動図書館事業」をご覧ください。

◆お出かけブックン

図書館まで来館することなく、公民館窓口でも図書館の本が受け取れるように、定期的に司書が巡回しています。個人利用者から依頼のあった予約本の配送、返却本の回収、予約用紙の受け取りとともに、各施設に貸し出す団体貸出の本も配送しています。

巡回日 毎週水曜日午後

※実績数は、「非来館者の貸出方法の内訳」をご参照ください。

◆施設向け団体貸出

要望のあった町内の施設に司書が選んだ本を定期的に貸出しています。

配送を希望する施設には、お出かけブックンで配送しています。

●町内保育園・小中学校向け団体貸出

保育園 選書 保育園セット 13セット（1セット 50冊）事前準備

入替 月1回

その他の要望対応 毎月20冊まで可 要望に応じて司書が選書

小学校 選書 各校毎月20冊（6～7クラス分）を選書

入替 年9回

その他の要望対応 「伝言板」としてリクエストを記入してもらう用紙あり
授業等やブックトーク等で必要な分は別で必要数を準備

中学校 選書 要望のあった学校・クラスに10～20冊を選書

入替 年9回

その他の要望対応 授業等やブックトーク等で必要数を準備

団体貸出に入れてほしい本のリクエストにも対応

●町内福祉施設向け団体貸出

施設利用者に施設内で読書を楽しんでもらうために行っています。本の種類や内容については利用者の状況に応じて柔軟に対応しています。

2021年から継続しています。施設の職員と打ち合わせの上、貸出冊数や読みたい本のジャンルを事前にお伺いして、月1回に団体貸出を行います。

返却の際に、利用者さんの声をメモにして渡してくださる団体もあります。高齢者の施設では、重い本は人気がないこと、一方で知識が身につく本は好評である、など知ることができました。学習漫画も良く読まれているそうです。

施設の利用者は、自分の足で大台町立図書館へ来館できない方が多くを占めています。団体貸出を通じて町立図書館の図書を利用する機会が得られるのは、施設の職員の皆様のお力添えあってこそだと実感しています。

利用施設数 3団体

利用冊数 計858冊

選書 内容や冊数について施設担当者と打ち合わせ後
10冊～40冊程度を準備

入替 月1回



好評だった本の一例

●報徳診療所向け団体貸出

受付前の待合スペースに書架を用意していただいています。貸出する本は、来院された方が気軽に読めるような昔話や、実用書、また昔を懐かしんでもらえるような本が中心です。また、医療に関する知識が得られる「からだとはたらくどうぐたち」のシリーズから数冊を選んで貸出することもありました。

本は、受付前の待合スペースで読むことができます。

利用冊数 計240冊

選書 内容や冊数について施設担当者と打ち合わせ後
毎月20冊を準備

◆高齢者大学

高齢者大学は大台町教育委員会生涯学習課が主催する公民館学級です。年間 6 回開催されます。図書館の職員が講話を行うのは、2017 年度以来 2 回目です。

受講者の年齢層を事前に伺ったところ 60 代後半から 90 代前半と幅広いことが分かりました。どの年代に合わせた講話をすればよいか難しかったです。

今回は、紹介した本を借りることができるように、図書館からハンディターミナルを持参しました。図書利用者カードがない方もその場でカードを申請して、借りていただきました。

開催日時と会場 2024 年 10 月 24 日（木） 真手地域総合センター
10 月 31 日（木） 就業改善センター

参加人数 24 日 7 名 31 日 9 名

内 容 図書館についての〇×クイズ
ブックトーク 「昭和にタイムスリップ」「イキイキ令和ライフ」
自由読書 紹介した図書の貸出



真手地域総合センターの様子



就業改善センターの様子

◆ブックンぶんこ

学校図書室内で大台町立図書館所蔵の本を閲覧・貸出できるようにしました。学校図書室の利用促進とともに、図書館を普段利用しない児童にも図書館の本を活用してもらう機会にしました。

2020 年度に図書館に割り当てられたパワーアップ事業の図書予算から、このブックンぶんこのために選書して購入をしました。2024 年度で 4 年目としてセットを入れ替えて継続して行っています。今回で、導入した 4 セットが全校を一巡しましたので、来年度以降の実施は検討中です。

運用期間 2023 年 5 月～2024 年 2 月
貸出セット数 1 セット 50 冊×小学校 4 校



三瀬谷小学校のブックンぶんこ

【移動図書館】

●移動図書館

町立図書館は大台町のほぼ中心に設置されているものの、町の地域性ゆえに子どもや高齢者といった交通弱者が来館しにくい現状があります。

そこで、町立図書館から遠い日進・川添地区を対象として、2022年度に移動図書館の試験運行を行い、2023年度から継続的な事業として本格運行を開始しました。

町民から「図書館が身近になった」「子どもと本を読む時間が増えた」といった声があったほか、園児からは「水曜日は移動図書館の日」と楽しみにしてくれている声もありました。この移動図書館を通して、町立図書館への利用促進にもつながっています。

場所は安全面などを考慮し、日進地区は大台町民体育館の敷地内、川添地区は川添小学校校庭内を借りています。雨天時は川添地区のみ川添小学校体育館の入口で行っています。

7月～8月は、近年猛暑日が続く傾向にあり、屋外での活動が危険な時期であるため、運休しています。

蔵書数は一般書、児童書含め約350冊を準備し、新規登録の場合は町立図書館で手続きをしなくても現地で申請書を記入、事前に仮登録した図書利用者カードを渡すだけで完了できるようになりました。

移動図書館は、図書館の静寂なイメージから離れ、終始賑やかに本を選べるのが良い点です。子どもの本だけでなく、一般書の利用も増え、保育園内からは、「移動図書館だ」と子どもの声が聞こえることもあります。それだけ定着してきたことが窺えます。

対象地区 日進地区／川添地区

対象者 日進／川添地区の保育園児と送迎保護者及び近隣住民

実施場所 日進地区…大台町民体育館の敷地内／川添地区…川添小学校校庭内正門付近

運行日程 毎月各地区2回

返却方法 次の運行日（約2週間）、および図書館、公民館でも返却可能



日進地区の様子



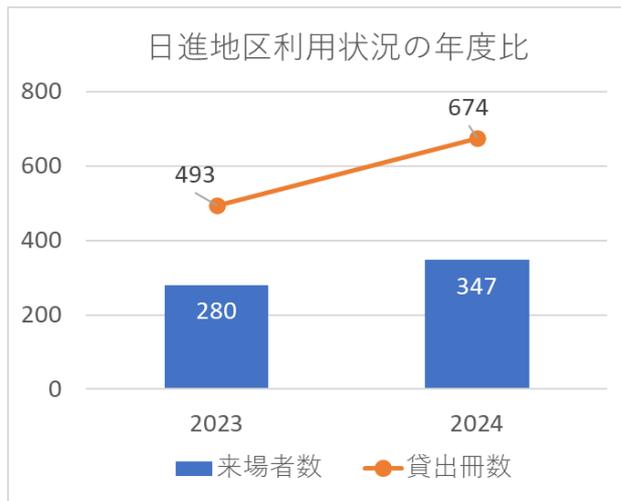
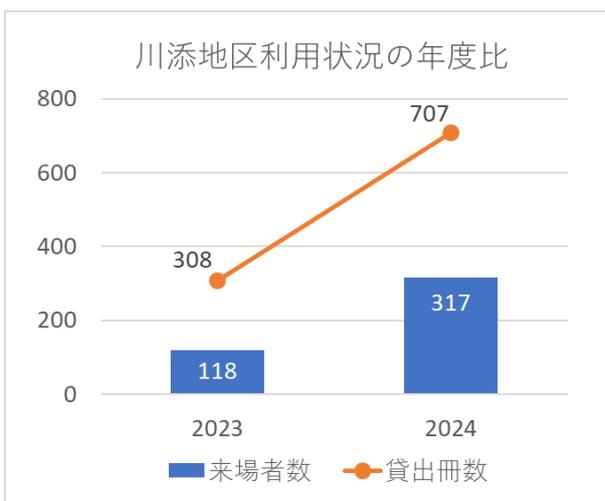
川添地区の様子

●移動図書館運行状況

月	開館 日数	来場者数	貸出人数	貸出冊数	返却冊数	新規 登録者数	リクエスト・予 約・相互貸借 申込枚数	レファ レンス	1時間当たりの 貸出人数	1人当たり の貸出冊数
4月	4	49	16	59	44	1	4	9	4.0	3.7
5月	4	76	29	116	89	3	7	5	7.3	4.0
6月	4	66	26	110	76	3	2	3	6.5	4.2
9月	4	50	18	118	82	2	8	5	4.5	6.6
10月	4	71	28	145	138	2	12	2	7.0	5.2
11月	4	84	31	165	137	2	3	2	7.8	5.3
12月	3	63	25	143	136	0	12	7	8.3	5.7
1月	3	70	27	169	138	1	11	6	9.0	6.3
2月	4	69	30	191	145	0	7	4	7.5	6.4
3月	4	66	26	165	199	1	10	5	6.5	6.3
合計	38	664	256	1381	1184	15	76	48		

(開館時間 15:30~16:30 1時間)

移動図書館 1時間当たりの貸出平均人数・冊数	6.74 人	36.3 冊
------------------------	---------------	---------------



●地区別利用状況

【日進地区】（日進保育園横空地）

◆利用者区分別来場者数

月	回数	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	合計	天候	リクエスト	予約本
4月	1回目	5	6	0	0	6	17	晴	1	0
	2回目	4	0	0	0	5	9	雨	3	0
5月	3回目	10	0	0	0	5	15	小雨	0	0
	4回目	12	8	0	0	7	27	晴	2	0
6月	5回目	8	3	0	0	5	16	晴	1	0
	6回目	7	3	0	0	4	14	曇	1	0
9月	7回目	6	3	0	0	5	14	晴	2	0
	8回目	9	5	0	0	4	18	曇	1	0
10月	9回目	12	3	0	0	9	24	晴	4	0
	10回目	8	0	0	0	7	15	雨	2	2
11月	11回目	11	2	0	0	9	22	晴	0	0
	12回目	11	0	0	0	6	17	晴	2	0
12月	13回目	9	7	0	0	7	23	晴	1	0
1月	14回目	10	1	0	0	9	20	晴	3	0
	15回目	11	3	0	0	7	21	晴	4	0
2月	16回目	9	4	0	0	6	19	曇	1	0
	17回目	10	0	0	0	6	16	晴	3	0
3月	18回目	12	6	0	0	8	26	雨	3	0
	19回目	8	1	0	0	5	14	晴	0	1
合計		172	55	0	0	120	347		34	3

◆貸出・返却状況

月	回数	貸出人数	貸出冊数	返却冊数	1人当たりの貸出冊数
4月	1回目	5	12	7	2.40
	2回目	3	24	29	8.00
5月	3回目	5	32	36	6.40
	4回目	7	25	22	3.57
6月	5回目	4	20	21	5.00
	6回目	4	27	7	6.75
9月	7回目	4	30	1	7.50
	8回目	4	39	21	9.75
10月	9回目	9	39	30	4.33
	10回目	6	36	52	6.00
11月	11回目	7	39	28	5.57
	12回目	6	47	60	7.83
12月	13回目	6	29	19	4.83
1月	14回目	9	53	19	5.89
	15回目	6	49	56	8.17
2月	16回目	6	49	34	8.17
	17回目	7	43	27	6.14
3月	18回目	8	48	53	6.00
	19回目	5	33	51	6.60
合計		111	674	573	6.07

◆新規登録者数（再発行は含まず）

月	回数	新規登録者数	貸出新規者割合
4月	1回目	0	0%
	2回目	0	0%
5月	3回目	0	0%
	4回目	0	0%
6月	5回目	0	0%
	6回目	0	0%
9月	7回目	0	0%
	8回目	2	50%
10月	9回目	0	0%
	10回目	1	17%
11月	11回目	1	14%
	12回目	1	17%
12月	13回目	0	0%
1月	14回目	1	11%
	15回目	0	0%
2月	16回目	0	0%
	17回目	0	0%
3月	18回目	0	0%
	19回目	1	20%
合計		7	6%

※貸出新規者割合…全体の利用者のうち
新規利用者の割合

【川添地区】（川添小学校校庭）

◆利用者区分別来場者数

月	回数	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	合計	天候	リクエスト	予約本
4月	1回目	0	0	0	0	2	2	雨	0	0
	2回目	9	2	0	0	10	21	晴	0	0
5月	3回目	7	3	0	0	6	16	曇	4	1
	4回目	9	2	0	0	7	18	曇	0	0
6月	5回目	11	4	0	0	9	24	晴	0	0
	6回目	4	2	0	0	6	12	晴	0	0
9月	7回目	5	1	0	0	3	9	晴	3	0
	8回目	4	1	0	0	4	9	晴	1	1
10月	9回目	9	0	0	0	6	15	晴	1	0
	10回目	8	1	0	0	8	17	曇	3	0
11月	11回目	10	0	0	0	8	18	晴	0	0
	12回目	13	5	0	0	9	27	曇	1	0
12月	13回目	9	2	0	0	7	18	曇	1	1
	14回目	11	2	0	0	9	22	晴	7	2
1月	15回目	15	2	0	0	12	29	晴	3	1
2月	16回目	9	0	0	0	9	18	雪	0	1
	17回目	9	0	0	0	7	16	雪	2	0
3月	18回目	8	0	0	0	4	12	雨	1	1
	19回目	8	1	0	0	5	14	晴	3	1
合計		158	28	0	0	131	317		30	9

◆貸出・返却状況

月	回数	貸出人数	貸出冊数	返却冊数	1人当たりの貸出冊数
4月	1回目	1	4	4	4.00
	2回目	7	19	4	2.71
5月	3回目	8	27	7	3.38
	4回目	9	32	24	3.56
6月	5回目	10	38	17	3.80
	6回目	8	25	31	3.13
9月	7回目	5	27	30	5.40
	8回目	5	22	30	4.40
10月	9回目	7	30	26	4.29
	10回目	6	40	30	6.67
11月	11回目	8	37	17	4.63
	12回目	10	42	32	4.20
12月	13回目	9	46	51	5.11
	14回目	10	68	66	6.80
1月	15回目	12	67	63	5.58
2月	16回目	10	47	38	4.70
	17回目	7	52	46	0.00
3月	18回目	6	38	52	6.33
	19回目	7	46	43	6.57
合計		145	707	611	4.88

◆新規登録者数（再発行は含まず）

月	回数	新規登録者数	貸出新規者割合
4月	1回目	0	0%
	2回目	1	14%
5月	3回目	2	25%
	4回目	1	11%
6月	5回目	0	0%
	6回目	0	0%
9月	7回目	0	0%
	8回目	0	0%
10月	9回目	1	14%
	10回目	0	0%
11月	11回目	0	0%
	12回目	0	0%
12月	13回目	0	0%
	14回目	0	0%
1月	15回目	0	0%
2月	16回目	0	0%
	17回目	0	0%
3月	18回目	0	0%
	19回目	0	0%
合計		5	3%

※貸出新規者割合…全体の利用者のうち

新規利用者の割合

【他機関連携事業】

◆ブックスタート

ブックスタートは、0歳児検診などの機会に、絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。赤ちゃんの幸せを願い、行政と市民が協働する自治体の事業として、全国で行われています。

大台町では子育て支援センターが主催し、4～5ヶ月児が対象で、絵本をきっかけに親子で楽しい時間を過ごせるよう図書館司書から個別にアドバイスを行います。

絵本をきっかけにした親子の時間について話をする際に、まず家庭での様子を伺い、兄弟姉妹との関係や主に保育をされる方の生活パターンに合わせて、絵本のある暮らしについて提案しています。

今年度は、ブックスタートの対象となる赤ちゃんが少ないという理由で、奇数月のみの開催となりました。毎月、赤ちゃんに会えるのを楽しみにしていたのでとても残念でした。連絡を受けたときに、担当の先生には対象者がいなくても、会場で待機することは可能である旨をお伝えしたのですが、奇数月のみの開催で差し支えないとの回答でした。

対象月に参加できなかった場合は、子育て支援センターから次回参加するように呼びかけてもらうことになっています。しかし、今年度のように奇数月のみで開催すると、欠席の場合は2か月先に延びてしまい、適切な時期に講話ができなくなることがわかりました。そのため、当初予定になかった2月に開催をすることとなりました。

2025年度は、2024年度よりも対象者が多くなるため、一昨年度と同様に毎月開催することです。

主 催	子育て支援センター
内 容	絵本をきっかけにして、親子で楽しい時間を過ごしてもらう 絵本を2冊プレゼント
対 象	4～5ヶ月児
依頼方法	ブックスタートの講師派遣依頼を受けて司書が出張する
場 所	子育て支援センター（大台町健康ふれあい会館内）
開催日時	「のびのび相談」開催時 一組10分程度
参加組数	24組（4～3月）

◆川添保育園との交流

6月頃、川添保育園から「ロクロクビオトシブミ」という虫が載っている図鑑はあるか、とレファレンスがありました。それをきっかけに、同園との交流が始まりました。

園児たちが、図書館に寄せる興味関心は尽きることなく、交流は続きました。休日に家族で来館する様子も見られ、また、移動図書館の利用促進にもつながりました。

1年にわたる交流の様子は以下の通りです。

月日	来館人数	内 容
6/26(水)	4歳児9名 職員3名	園バスで来館 自由読書 団体貸出 絵本読み聞かせ
10/18(金)	4,5歳児13名 職員5名	JRと徒歩で来館(往復) 図書館のルールを学ぶ(スタンプラリー) 館内見学 自由読書 団体貸出 ランチタイム利用あり (園から給食を運んでもらう)
10/28(月)	3~5歳児28名 職員6名	園バスで来館 図書館のルールを学ぶ(3歳児のみ) 館内見学 自由読書 団体貸出
12/16(月)	3~5歳児22名 職員6名	往路:JRと徒歩で来館 帰路:園バス 前回借りた図書の返却 自由読書 団体貸出
3/5(水)	4歳児9名 職員3名	園バスで来館 図書館のお仕事体験 端末を操作して貸出業務を行う おすすめの本紹介 (4/15~行政チャンネルで放送)



3/5 貸出業務の体験中



3/5 行政放送向けにおすすめの本を紹介中

【広報活動】

◆図書館だより

毎月図書館だよりを発行しています。開館予定、行事のお知らせ、イベントの様子などの図書館に関する情報と毎月のテーマコーナー本や新着本などの本紹介を行っています。図書館以外に、お出かけブックンの際、各公民館図書室や各施設に配布しています。



発行 毎月1日
通算 130号 (2025年3月)
発行部数 約250部

◆図書館だより YA版

※YA (ヤングアダルト) とは、10代の若者を指します

読書離れが進んでいると言われている10代の図書館利用を促進し、読書につなげるために図書館だよりを2018年より発行しています。図書館の利用案内や活用法をはじめ、10代におすすめ本の紹介などを掲載しています。また、YA世代を対象としたリクエスト募集行事「リク★マツ」の募集やその結果発表、YA世代対象行事のおしらせなどにも活用しています。町立図書館で配布のほか、町内小中学校、昴学園高等学校図書室でも配布しています。



発行 年4回
発行部数 約1040部
春 約260部
夏 約260部
秋 約260部
冬 約260部

◆ホームページ（【Web サービス】参照）

◆X（旧 Twitter）（【Web サービス】参照）

◆広報おおい

「広報おおい」に図書館のコーナーがあります。図書館が情報発信する媒体として各戸配布される唯一の存在です。行事のお知らせだけでなく、図書館を利用したことがない町民の方にも図書館とはどんなところか知ってもらおう場として活用しています。

◆行政チャンネル おーちゃん「図書館だより」

司会者とともに月替わりで司書が出演し、図書館のおすすめ本や行事、図書館の利用案内をしています。

◆行政チャンネル 文字放送

行政チャンネルの文字放送で休館や行事のお知らせをしています。

◆ポスター・チラシ

行事や新しい事業のお知らせは、ポスターとチラシを基本としています。図書館だよりの配布時や各施設等にも掲示してもらっています。



◆回覧板

チラシやポスターの周知効果をより高めるために回覧板を活用し、インターネットなどで情報収集しない方や普段図書館を利用されない方への情報発信としています。

◆役場ロビーにブックトラック

町民の来庁が多い役場本庁 1 階ロビーに図書館宣伝コーナーを設置しています。広く図書館の存在をアピールし、来館者の増加を目的としています。

各種お知らせの他に図書館の本も置いています。ここの本も利用者が図書館で手続きをすれば借りることができます。

◆おおいナビ

大台町の行政情報が見られるアプリに、今年度から図書館情報のコーナーができました。行事や図書館だよりをはじめ、図書館からのお知らせを掲載しています。

【施設支援事業】

お出かけブックンの配送に留まらず、町内施設にある図書室の読書環境向上のために、支援を行っています。

◆町内小・中学校の図書室支援

司書が各学校図書室の支援を行っています。

週1回程度であるため支援には限界がありますが、各校にあった支援を続けています。図書委員会が行っている活動の支援や、司書独自で企画して本紹介や図書室クイズなども実施しています。それぞれの学校で取り組む内容は違いますが、どの学校も話しやすい人間関係、来やすい図書室づくりを意識して支援にあたっています。授業での読み聞かせやブックトークの団体を相手にする依頼も多いですが、個々の読書意欲、安心して過ごせる場所づくりが一番大切なことだと思っています。

訪問日数 小学校週1日半 中学校週1日

支援内容 カウンター業務（貸出・返却、レファレンス）

資料整備（選書、受入、廃棄、本の修理、館内清掃、書架整理）

読書推進（本紹介、テーマコーナー、図書だより作成、読書推進企画
ブックンぶんこ設置）

授業サポート（図書館資料提供、ブックトーク・読み聞かせ）

その他 教室への支援として団体貸出を実施

図書室年間報告等作成



川添小学校 「えほんガチャ！」実施の様子

【その他】

◆職業体験・インターンシップの受入

教育機関から職業体験やインターンシップの受け入れをしています。

今年度は、9月に大台中学校から2名2日間、宮川中学校から2名3日間、大紀中学校から1名1日間、大宮中学校から2名2日間、12月に昴学園高等学校から2名3日間の日程で受入をしました。

体験してもらう内容は曜日によって業務が変わります。火曜日は、学校図書館に1日司書の補助として業務に行きます。水曜日は、お出かけブックンで町内をめぐり、公民館図書室の本の入替えや本の配送業務に携わりました。また、移動図書館も水曜日です。地域の利用者への貸出返却業務に携わってもらいました。木曜日は、定期行事「ぷらっと」の補助業務がありました。金曜日は、館内業務が中心です。本の貸出返却、雑誌の受け入れ、本の配架、本の修理、本を紹介するPOPの作成などを行いました。

昴学園高等学校のインターンシップでは、来館した保育園児の対応や、学校図書館での読み聞かせや冬休みの貸出対応などをしながら、子どもたちと上手にコミュニケーションをとっていました。

【大台中学校】



本の修理の様子

【宮川中学校・大紀中学校・大宮中学校】



POP 作成の様子



公民館図書室での
本の入替えの様子

【昴学園高等学校】



学校図書館業務の様子



図書館窓口業務の様子



本の配架の様子

◆図書館設備・図書館システム

設備の不具合を減らしスムーズな図書館運営を行うための設備の定期的な更新や交換、利用者の要望に応えるための備品を整備しています。

- ・ 階段昇降機のバッテリー交換

以前より調子の悪かった階段昇降機のバッテリーを交換しました。

- ・ 防犯用自動点灯照明（1台）

冬場の夕暮れ以降の防犯対策として設置しました。

- ・ 1階インターネット検索性用パソコン（1台）

利用困難になっていた1階のパソコンを交換しました。

- ・ 公用車のラッピング（1台）

移動図書館車として利用している公用車を、より目立たせるために車のラッピング装飾をしました。これに伴い、「もりっこ号」と名付けました。



3. 状況報告

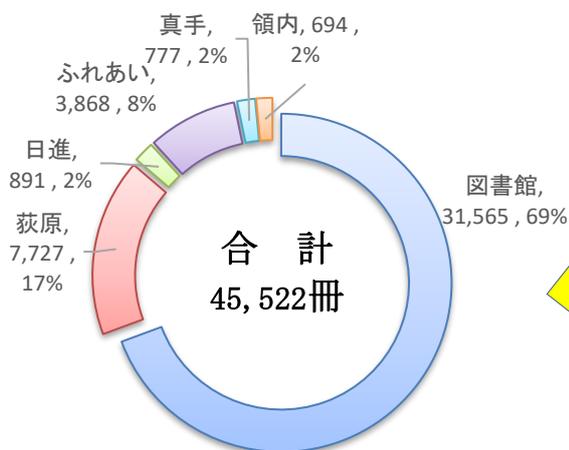
【資料所蔵状況】 (令和7年3月31日現在)

●所蔵館別の蔵書冊数

※各公民館にあるデータ未登録資料は含まず

	図書館	荻原	日進	ふれあい	真手	領内	合計
図書一般	18,256	4,850	504	2,690	393	166	26,859
図書児童	12,639	2,877	345	1,136	384	528	17,909
雑誌	670	0	42	42	0	0	754
合計(冊)	31,565	7,727	891	3,868	777	694	45,522

所蔵館別蔵書冊数(冊)

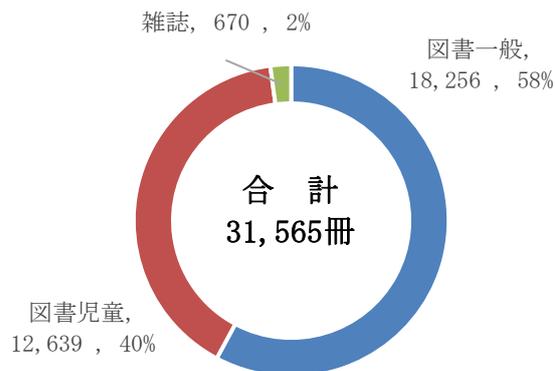


■ 図書館 ■ 荻原 ■ 日進 ■ ふれあい ■ 真手 ■ 領内

《所蔵館略称名》

- 図書館 < 大台町立図書館
- 荻原 < 荻原公民館
- 日進 < 日進公民館
- ふれあい < 健康ふれあい会館
- 真手 < 真手地域総合センター
- 領内 < 領内出張所

大台町立図書館の資料区分構成



■ 図書一般 ■ 図書児童 ■ 雑誌

●資料の増減

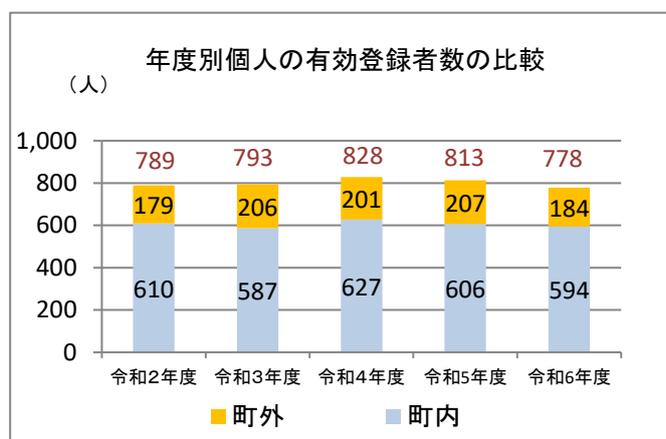
※未登録資料は含まず

図書・雑誌	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
購入図書資料(冊)	2,741	2,027	1,190	1,743	1,490
購入雑誌資料(冊)	337	331	341	334	331
寄付・寄贈(冊)	28	13	47	54	45
除籍等(冊)	-1,399	-1,719	-1,528	-1,627	-1,884
所蔵・分類変更分(冊)	1	23	8	-11	145
年度末蔵書数(冊)	44,169	44,844	44,902	45,395	45,522

【利用者状況】 (令和7年3月31日現在)

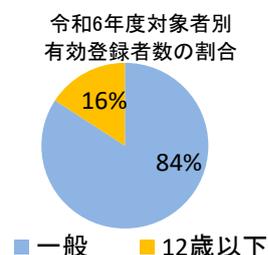
※有効登録者数は年度内に実際に登録または貸出利用した個人・団体のこと（登録のみを含む）

年 度			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
来館者総数(人)			9,797	11,122	10,671	10,405	10,939
登録者総数(件)			5,062	5,168	5,245	5,488	5,587
新規登録者数(人)			145	111	104	156	114
有効登録者数(件)			905	918	956	945	912
有効登録件数 内訳	個人	町内	610	587	627	606	594
		町外	179	206	201	207	184
		計(人)	789	793	828	813	778
	団体	町内施設・団体	76	87	87	88	91
		町外施設・団体			2	3	4
		相互貸借館	40	38	39	41	39
	計(件)	116	125	128	132	134	
実利用者数(件) (内は団体数)			877(113)	892(121)	937(122)	926(130)	880(126)
貸出利用件数合計(件)			8,570	9,194	9,536	9,032	9,463
貸出利用件数 内訳	個人	のべ人数	7,052	7,575	8,101	7,498	7,839
	団体	のべ数	1,213	1,371	1,217	1,264	1,405
	相互貸借	のべ館数	305	248	218	270	219
2Fマルチフロア利用者合計(人)			1,405	2,021	2,132	2,151	2,398
2F マルチフロア 内訳	個別学習コーナー		470	911	792	759	980
	多目的ルーム		286	571	468	595	480
	ランチタイム		34	94	203	202	224
	行事参加者総数		597	419	665	595	576
	校外学習		18	26	4	0	138

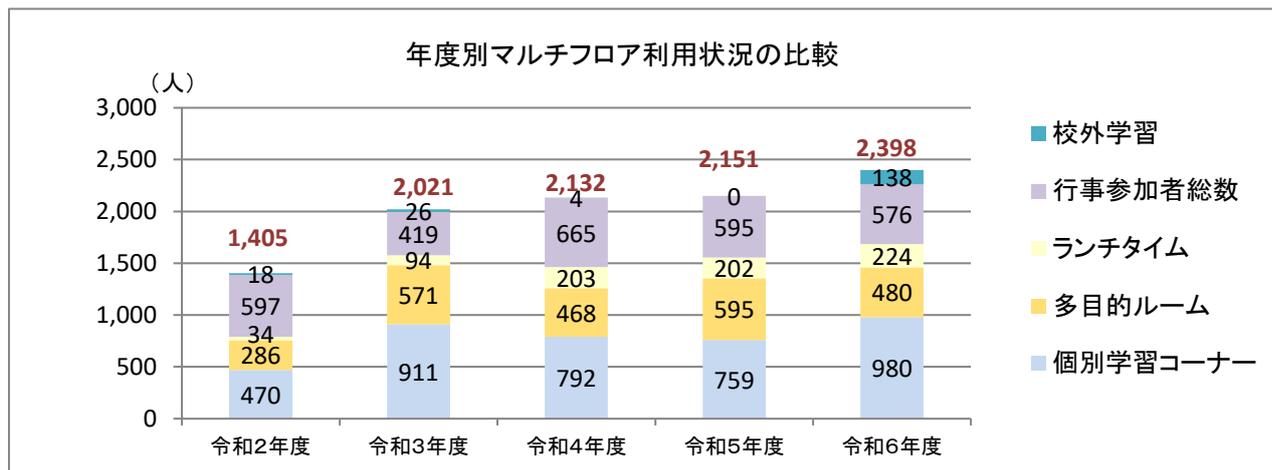


●個人利用対象者別有効登録者数

対象別有効登録者割合	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般	646	678	697	689	655
12歳以下	143	115	131	124	123
合計(人)	789	793	828	813	778



●マルチフロア利用状況



●各種サービス利用状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相互貸借	借受冊数	611	543	572	566	860
	貸出冊数	374	279	252	348	264
複写(件)		33	37	32	38	61
レファレンス(件)		99	32	18	31	35

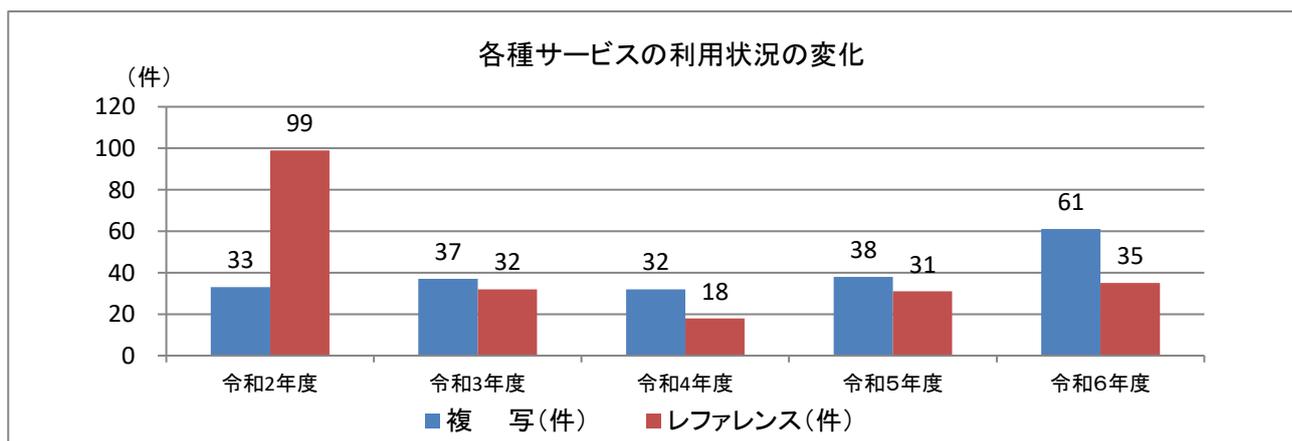
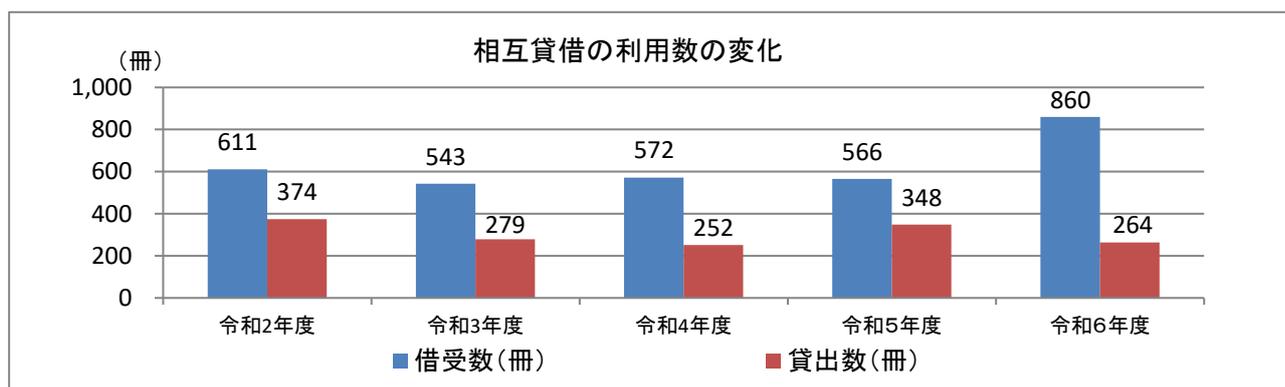
相互貸借とは、他の図書館と資料の貸し借りをを行うこと

相互貸借[借受冊数]は、他館より借りた資料数

相互貸借[貸出冊数]は、他館に貸出した資料数

複写は、図書館資料のコピー依頼件数

レファレンスは、司書への質問・相談件数(情報探索に時間が必要なもののみカウント)

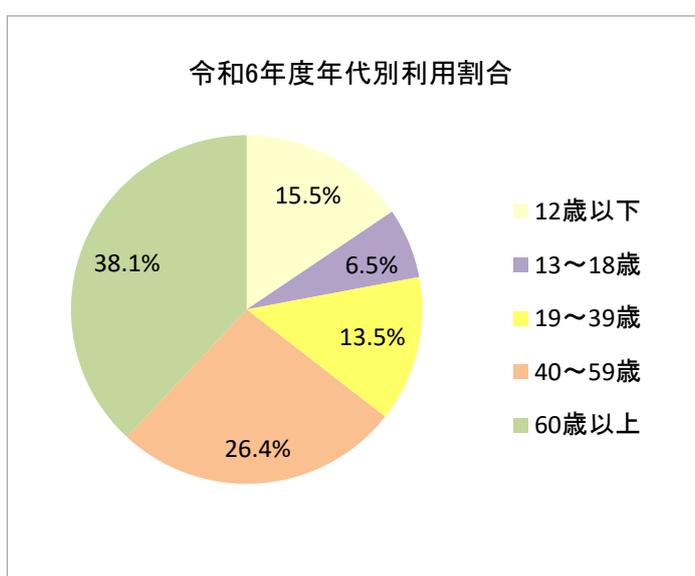
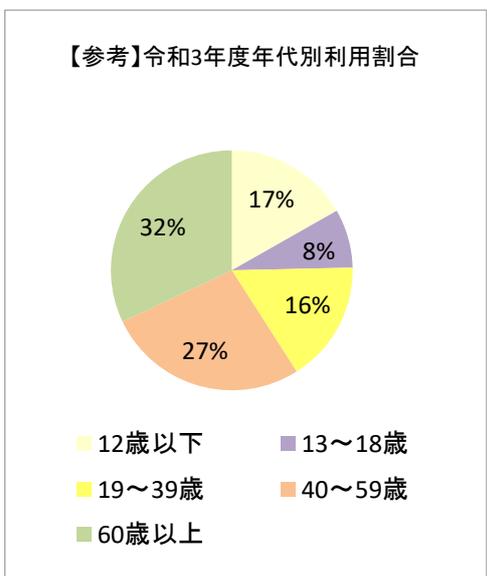
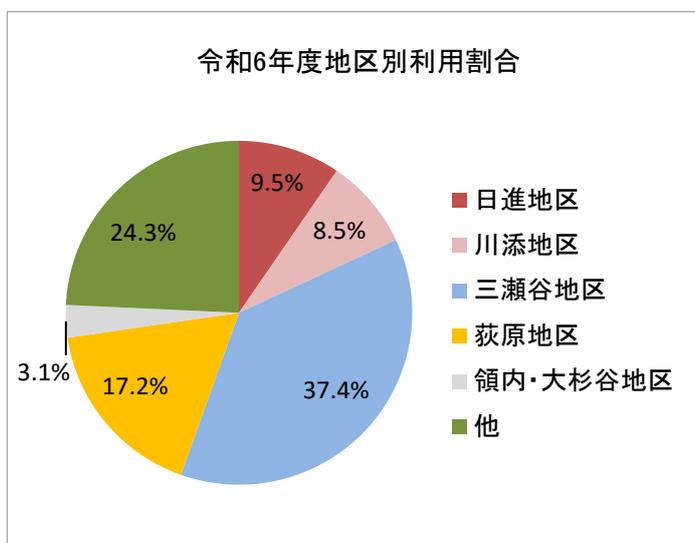
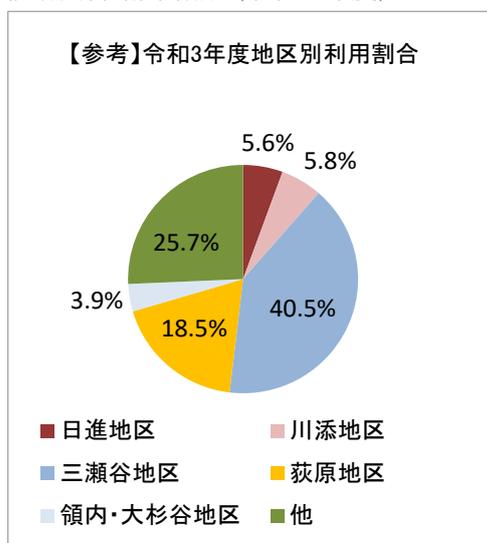


【年齢別地区別個人の実利用者数】

年度内に貸出をした個人の地区別人数（団体含めず）

	12歳以下	13～18歳	19～39歳	40～59歳	60歳以上	地区合計	地区別利用
日進地区	24	6	9	17	16	72	9.5%
川添地区	17	3	12	15	17	64	8.5%
三瀬谷地区	49	16	39	67	111	282	37.4%
荻原地区	17	11	16	35	51	130	17.2%
領内・大杉谷地区	0	2	4	8	9	23	3.1%
他	10	11	22	57	83	183	24.3%
合計(人)	117	49	102	199	287	754	100%
年代別利用	15.5%	6.5%	13.5%	26.4%	38.1%	100%	

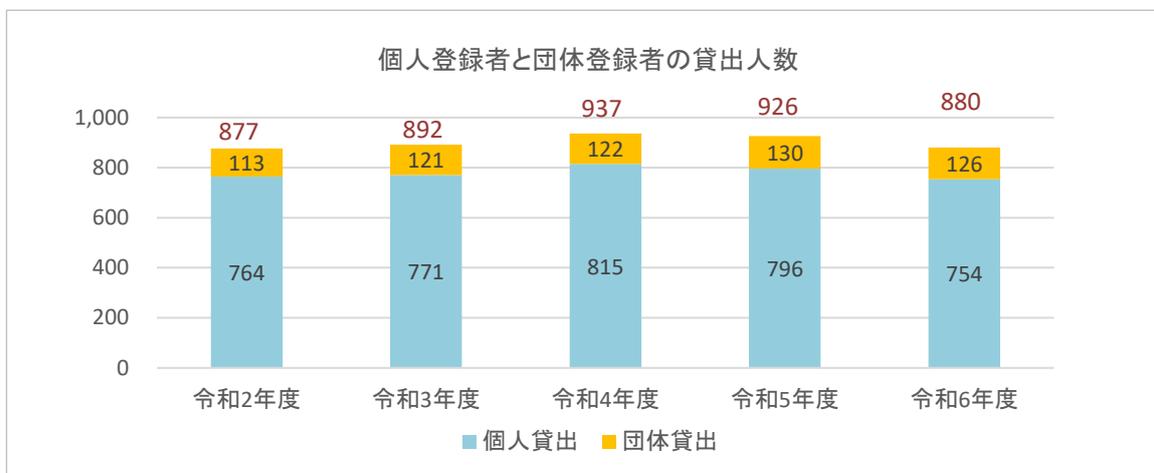
移動図書館開始前（令和3年度）との比較



【貸出状況】 (令和7年3月31日現在)

●実利用者人数(貸出者人数)

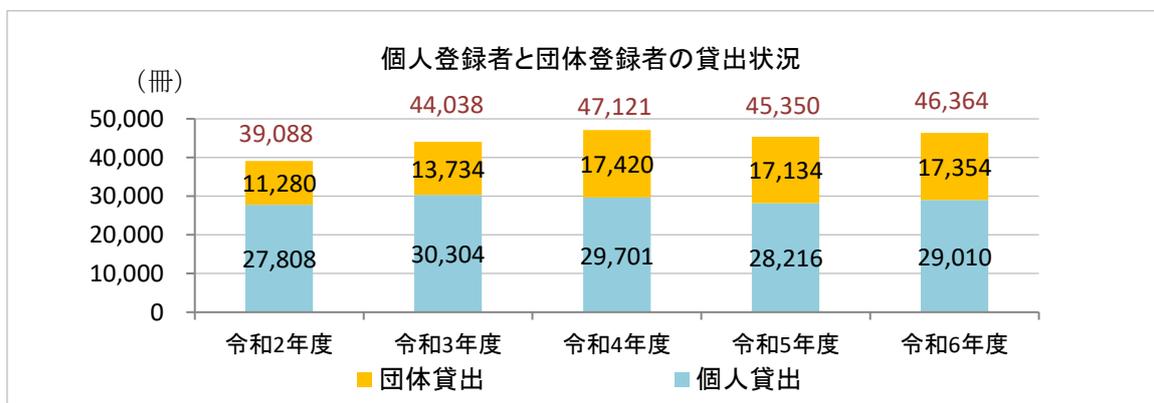
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
個人貸出	764	771	815	796	754
団体貸出	113	121	122	130	126
貸出合計(人)	877	892	937	926	880



●貸出冊数

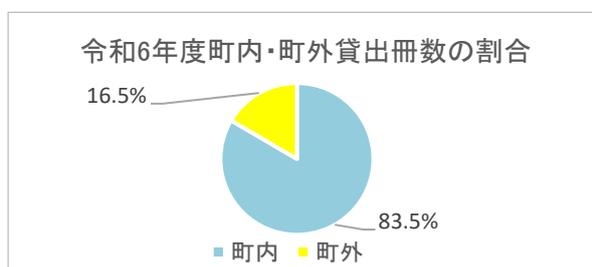
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
個人貸出	27,808	30,304	29,701	28,216	29,010
団体貸出	11,280	13,734	17,420	17,134	17,354
貸出合計(冊)	39,088	44,038	47,121	45,350	46,364

※ここでの団体貸出とは、団体登録者と相互貸借館への貸出を指す
令和3年度までは貸出処理がされていない分の保育園セットの数を含めず



●令和6年度の貸出冊数の内訳

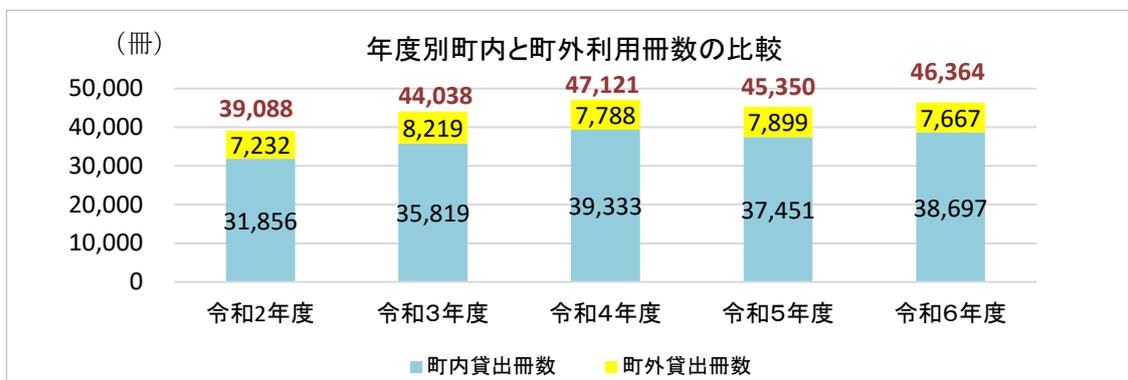
	個人	団体	合計
町内	21,693	17,004	38,697
町外	7,317	350	7,667
合計(冊)	29,010	17,354	46,364
	個人	団体	全体
町内	46.8%	36.7%	83.5%
町外	15.8%	0.8%	16.5%



●町内利用と町外利用

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
町内貸出冊数	31,856	35,819	39,333	37,451	38,697
町外貸出冊数	7,232	8,219	7,788	7,899	7,667
貸出合計(冊)	39,088	44,038	47,121	45,350	46,364

※町外とは、大紀町在住者、町内在学・在勤者（他市町村在住）を指す
 それぞれ団体登録者も含む
 このデータは、令和3年度までは、保育園セットは貸出処理されないためカウント含めず



●令和6年度の年齢別地区別の個人の貸出冊数

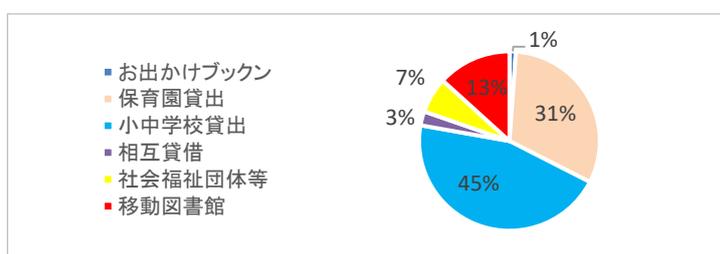
	12歳以下	13～18歳	19～39歳	40～59歳	60歳以上	地区合計
日進地区	730	39	196	192	369	1,526
川添地区	1,190	4	213	505	919	2,831
三瀬谷地区	2,718	569	1,512	2,223	4,956	11,978
荻原地区	636	118	538	1,898	1,583	4,773
領内・大杉谷地区	0	13	221	213	138	585
他	329	240	443	1,852	4,453	7,317
合計(冊)	5,603	983	3,123	6,883	12,418	29,010
児童・一般	5,603	23,407				29,010

●非来館者の図書利用方法別の貸出冊数内訳

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
お出かけブックン	72	127	136	97	120
保育園貸出	3,480	3,480	3,319	3,293	3,281
小中学校貸出	5,700	5,700	6,227	5,070	4,729
相互貸借	374	276	252	364	264
どくしょ便	49	97			
社会福祉団体等		440	1,120	1,151	672
移動図書館			962	801	1,381
貸出冊数合計(冊)	9,675	10,120	12,016	10,776	10,447

※お出かけブックンは、図書館所蔵資料を各公民館・福祉施設に個人対象に配送した冊数を指す

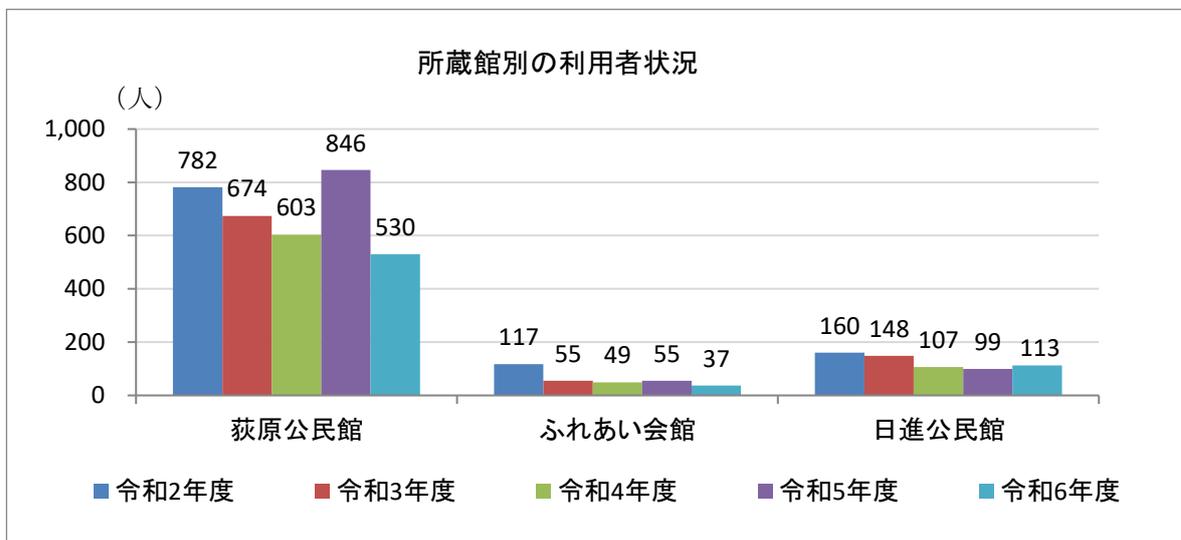
●令和5年度非来館者の貸出利用方法別の割合



【公民館図書室利用状況】（令和6年3月31日現在）

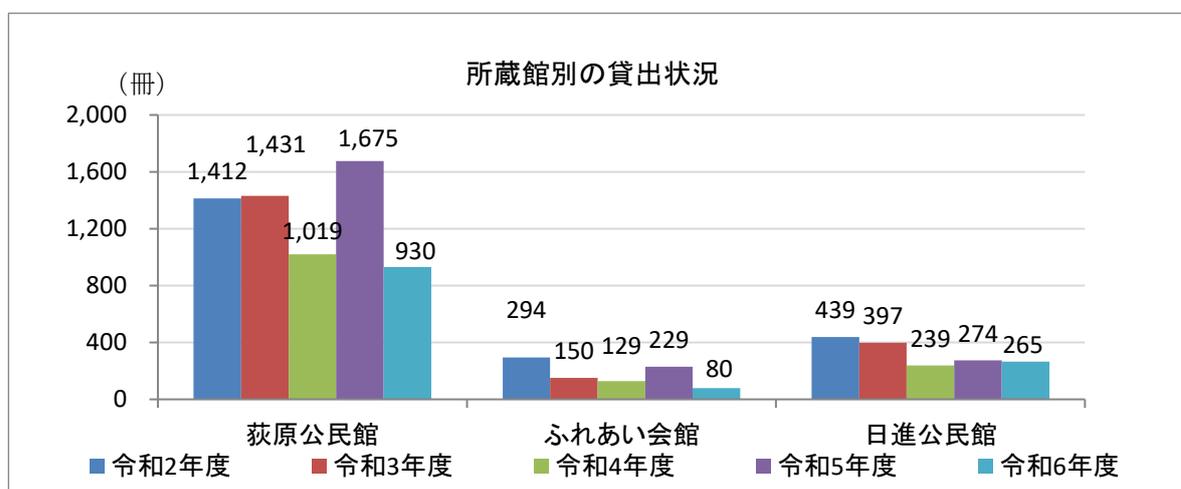
●公民館図書室貸出利用者数 ※公民館利用者の数には、お出かけブックンでの利用は含まれない

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
荻原公民館	782	674	603	846	530
ふれあい会館	117	55	49	55	37
日進公民館	160	148	107	99	113
利用者合計(人)	1,059	877	759	1,000	680



●公民館図書室貸出冊数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
荻原公民館	1,412	1,431	1,019	1,675	930
ふれあい会館	294	150	129	229	80
日進公民館	439	397	239	274	265
貸出合計(冊)	2,145	1,978	1,387	2,178	1,275



4. 経費・サービス指数

【令和6年度 資料費】

(円)	
図書費	3,000,000
雑誌・新聞費	435,533
合計(資料費)	3,435,533

【サービス指数】

『日本の図書館 統計と名簿2024』より
平均値を算出

[指標数値]

人口8千～1万人未満
の43町村の平均

町内有効登録率 (在勤・在学・町外をのぞく)	8.43%	町内有効登録数(685件) 人口(8,129人) ×100	
町民1人当たりの貸出冊数	4.76冊	町内貸出冊数(38,697冊) 人口(8,129人)	4.62冊
個人の実利用者1件当たりの年間貸出冊数	38.47冊	個人の貸出冊数(29,010冊) 個人の実利用者数(754件)	
町民1人当たりの蔵書冊数	5.60冊	蔵書冊数(45,522冊) 人口(8,129人)	9.26冊
町民1人当たりの年間図書購入冊数	0.18冊	年間図書購入冊数(1,490冊) 人口(8,129人)	0.21冊
町民1人当たりの資料購入費	422.63円	資料費(3,435,533円) 人口(8,129人)	488.25円

【基本数値】

人口8千～1万人未満
(合計34.9万人)の
43町村の平均

人口	8,129人	令和7年3月31日現在	8,953人
有効登録件数(施設団体含む)	912件	内、町内有効登録件数(685件)	
貸出冊数	46,364冊	内、町内貸出冊数(38,697冊)	
個人の貸出冊数	29,010冊	内、町内貸出冊数(21,693冊)	41,372冊
個人の実利用者数	754人	1年間で貸出利用した人数	
蔵書冊数	45,522冊		82,930冊
図書購入冊数	1,490冊	(雑誌冊は含まず)	1,850冊
資料費	3,435,533円	図書費+雑誌・新聞	4,371,512円
購入図書平均単価	2013.42円	図書費÷購入図書冊数(1,490冊)	

5. 課題と対策

【前年度に挙げた課題と対策】

令和5年度図書館年報には、現状の課題と課題解決を行うための対策について記載しました。令和6年度はその対策を踏まえて活動をしました。

●令和5年度に挙げた課題と対策、令和6年度の実施状況

《行事》

課題	対策
<ul style="list-style-type: none">・子どもの図書館利用が減少・行事によって参加者が極端に少ない場合がある・行事開催日の再検討が必要	<ul style="list-style-type: none">・幅広い年代が図書館行事に参加できる機会があるようにする・対象者が利用している他機関での行事チラシ配布を強化する・他の図書館が行う行事に関心を持ち、魅力ある行事内容を発掘する・ぼぶばおはなしかいの開催曜日の変更

実施状況

5月に実施した「おはなし FESTIVAL!」は、前年度から準備に取り組み、計画的に進めることができました。アンケートの回答から参加者の満足度もとても高く、図書館に来てもらうよいきっかけになりました。ただチラシの効果で参加者が多かったというよりは、事前に講師の方が保育園を回って宣伝に協力してくれたことが、来館者の増加につながっていましたので、宣伝力という点では十分だったとはいえません。

ぼぶばおはなし会は、曜日を土曜日に変更しました。前年度よりは増えたものの、参加者0人という会もありました。

幼児・小学生をターゲット層とした行事では、参加者が多いもの、少ないものがはっきりと分かれました。予算をかけて講師依頼をする行事が好まれる傾向にあり、開催内容のより慎重な検討が求められています。また、10代をターゲットにした行事が十分に効果を発揮できていません。内容や広報媒体の見直しが必要です。

《資料》

課題

- ・保管すべき資料の書庫不足
- ・利用者の高齢化
- ・多様な形態の資料収集が不十分
- ・視聴覚ブースがない

対策

- ・大台町内に臨時の書庫スペースを確保
- ・的確な資料廃棄
- ・要望の高い新聞・雑誌・視聴覚資料の充実
- ・児童の学習用資料、大活字本はあらかじめ予算を分けて選書する
- ・視聴覚ブースの整備

実施状況

文化施設整備の会議が始まり、書庫の必要性を図書館側の意見として提出しました。それでも、書庫はすでに慢性的に不足しています。加えて、領内出張所の移転に伴い、領内の公民館図書室を、新たに領内の防災コミュニティーセンター内の一角に図書コーナーとして移転しました。書庫が増えたわけではありませんので、領内図書室にあった資料も大幅に廃棄しました。新図書館が建設される目途が立つまでの仮書庫のスペース確保はしておく必要がありました。そこで、荻原出張所の空き部屋にある棚を仮書庫として確保しましたが、使用するためには整備が必要です。

資料収集に関しては、予算の配分を決めて選書を行ったことで、利用者のニーズに応じた資料の充実を行っています。視聴覚資料については、映画鑑賞会などの行事で使用できる資料から収集を始めました。他にも、以前から要望の高かった「伊勢新聞」の次年度からの定期購読が決まりました。

《利用状況》

課題

- ・大台町民の有効登録件数が全住民の1割未満

対策

- ・家族で来館したくなる行事の企画

実施状況

登録者数が伸び悩んでいます。新規登録者を増やすためには、何か対策が必要です。

ただ、当館の貸出冊数の数字には反映されませんが、相互貸借による他館の資料貸出の利用が増えました。学習室や多目的ルームの利用も年々増えています。さらに12:00～13:00に限って食事ができることも認知されてきており、昼食をとる利用者も増えました。すでに図書館利用者となっている方は、リピーターとして定着しています。

また、学校や保育園の図書館見学などを積極的に受け入れたところ、移動図書館の利用や保護者と一緒に来館する子どもたちが増えました。

《非来館者の利用促進》

課題

- ・ 図書館利用の地域格差がある
- ・ 交通弱者に対する対策ができていない

対策

- ・ 移動図書館の運行継続と定着
- ・ 町内の福祉施設への団体貸出の継続
- ・ 施設職員との綿密な連携

実施状況

移動図書館の運行が地域の利用者に定着し、毎回一定数以上の利用があるようになりました。福祉施設への団体貸出は、図書館に来館できない方への資料利用の機会につながっています。

公民館図書室の利用は年々減少傾向にあり、荻原公民館に関しては、昨年度より大幅な利用減少となっていました。現時点では、その場に司書はいないため原因は不明です。

《通信制高等学校開校に伴う領内図書室の資料整理》

課題

- ・ 領内図書室置き図書の措置

対策

- ・ 新図書室のための書架確保
- ・ 規模縮小のため、大幅な廃棄

実施状況

9月頃より、新図書室に移動させる図書の選定や保管すべき資料、廃棄処理する資料の選定をしました。また、新図書室に設置するための書架として、移動可能な絵本書架1台と書類棚を4台確保しました。移転先のスペースの都合により、図書室はできませんでしたが、3月末から領内の防災コミュニティセンターの一部を図書コーナーとし、本を配架しました。

《文化施設整備基本構想について》

課題

- ・ 文化施設整備基本構想策定業務委託料
605万円予算計上

対策

- ・ 望ましい図書館についての提案
- ・ 新たに建設された他地域の図書館見学

実施状況

文化施設整備基本構想について話し合うための委員会が立ちあげられました。まずは町民へのアンケートが行われました。また、令和6年度の当初案として具体的な建築計画を策定するための委託料が予算化されていましたが、検討委員会やアンケート、議会などで出された意見を踏まえ、令和6年度の着手を見送ることとしました。

【令和7年度に向けての課題と対策】

現状の課題と課題解決を行うための対策について記載しました。令和7年度はその対策を踏まえて活動を行います。

《広報》

課題

- ・ 広報のあり方全体の見直しの必要性
- ・ ターゲット層にあった手段の選択
- ・ 図書館を利用しない人に向けての図書館サービス、資料、行事などの情報発信

対策

- ・ SNS (Instagram) の利用開始
- ・ 図書館の利用に関するアンケート調査の実施

《行事》

課題

- ・ 興味関心が低い行事の見直し
- ・ 各おはなし会への参加者を増やす
- ・ 中高生との関わりを増やす

対策

- ・ 他図書館の活動情報を積極的に収集する
- ・ 参加者が比較的多い、外部講師の行事を中心に行う
- ・ 中高生をターゲットにした行事は、学校の授業でも行う本紹介を「POP 大賞」として開催
- ・ 保育園への出張おはなし会実施
- ・ 中高生による図書館サポーターの検討

《資料》

課題

- ・ AV 資料の充実と設備の整備
- ・ 読書バリアフリーに対応した資料の収集
- ・ 的確な資料保管と廃棄
- ・ 要望の高い新聞、雑誌の購入検討
- ・ 郷土資料の未整理
- ・ 資料の返却がしにくい

対策

- ・ 視聴覚用設備の導入と利用促進のための周知
- ・ LL ブック、大活字、学習用資料の計画的な購入
- ・ 荻原出張所の仮書庫の整備と活用
- ・ 休刊になった雑誌に代わる、新たな雑誌の検討
- ・ 「伊勢新聞」の定期購読開始
- ・ 郷土資料のバーコード化
- ・ 公民館の館外返却ボックス設置の要望

《利用状況》

課題

- ・新規登録数の減少
- ・図書館外で図書館資料を認知した場合、借り方が分からず貸出につながりにくい
- ・公民館図書室の利用減少
- ・ステーションへの個人からの依頼による配送資料の減少
- ・50代～70代への利用促進が必要

対策

- ・外部イベント実施の時は、移動図書館として出向けるように手配する
- ・福祉施設との連携を強化し、団体貸出として置いた資料がその場所で簡単な手続きを済ませば個人貸出できるようなルールを明確化する
- ・ブックスタートなど外部で町民と接する機会がある場合は、新規カード作成・貸出がその場でできるようにする
- ・公民館図書室の資料充実
- ・保育園、学童保育などへ利用の働きかけを行う
- ・予約・リクエスト・相互貸借本がステーションに配送できることを、再度告知する

《非来館者利用の促進》

課題

- ・移動手段がなく来館困難者が増えている
- ・図書館利用に地域差が大きい

対策

- ・移動図書館の継続
- ・移動図書館の新ステーションの検討（宮川・大杉谷方面）
- ・施設団体への団体貸出の継続

《文化施設整備基本構想について》

アンケートや議会による意見抜粋

- ・ビジョンを明らかにしてほしい
- ・既存施設の利活用も検討すること
- ・場所についての協議も慎重にすること
- ・機能を向上させた図書館を望む

課題

- ・今後もよい形での図書館運営を望む声がある一方で、その具体像が見出せるまでの情報は収集しきれていないと考えられる
- ・文化施設整備基本構想を含めた今後の図書館像について、望まれる形をより具体的に整える必要がある

対策

- ・検討委員会を引き続き設置し、ワークショップなどを企画することで、その具体像を見出す
- ・図書館でも、町民の声を踏まえて、その分析を進めつつ、新規建築においてもその運営においても他事例を集めながら、望まれる図書館のハード面・ソフト面双方の具体像について情報収集に取り組む

図書館職員（令和7年5月現在）

館長（生涯学習課課長）	田牧慎也
館長補佐兼司書チーフ	井澤友紀
司書リーダー	扇田綾子
司書	岩田真奈
司書	稲葉梨紗
司書	瀬古実西